

土曜講座（空中散歩）報告

板垣 恒夫

【講座の現場】

北海道教育大学札幌校生物学実験室

参加：鴻城小学校 5 年生・北川昌宏君とお母さん

平成 15 年 10 月 11 日（土）午前 10 時～ 12 時

担当講師：板垣恒夫（北海道技術士センター）・並川寛司（北海道教育大学札幌校）

サポート：南 広樹・杉谷 泉・池浦由衣（北海道教育大学札幌校 3 年生）

【行事名】

北海道教育大学札幌校「土曜講座」

小学生・中学生対象 あいの里空中散歩

平成 3 年と平成 14 年に撮影した「あいの里」のカラー空中写真を使い、あいの里の 10 年間の変化を観察します。空中写真の「立体視」による空中散歩を楽しみながら、住宅地の拡大や農地の減少といった街の変化を調べてみます。

【講座の構成】

肉眼立体視の練習を「ソーセージ効果」で実施します。

立体写真の作成と肉眼立体視の練習をします。

実体鏡を使って平成 14 年撮影空中写真から「あいの里」の空中散歩をおこないます。自分の家・友達の家・自分の通う小学校・街の様子などを観察します。

前もって作成してあった地上写真をプロジェクターでみてみます。

平成 3 年撮影空中写真から 10 年前の「あいの里」を観察します。

サポートの学生さんから、10 年間の変化についてプロジェクターを使ってお話してもらいます。

最後の締めくくりを、講師の先生にしてもらいます。

【感想】

今回の「小学生・中学生対象 あいの里空中散歩」は鴻城小学校 5 年生の北川昌宏君とお母さんの 1 組でした。お母さんは私達だけですけれど教えて頂けますか？と不安な様子でした。北川君は眼鏡をかけた元気なお兄ちゃんです。教えたことはテキパキとこなし、お母さんがなかなかできない「立体視」の方法を教えていました。

自分の家、学校も素早くみつけ、通りの「お化けの樹木」を講師の先生、サポータの学生さんに教えてくれました。小さいときから近くにあった「ヤナギ」の木です。よくみてみますと、周囲の樹木よりも一回りおおきく、小さいときからの友達のようなです。平成3年の空中写真から、むかしの様子も知ることができました。古いことはお母さんがなつかしくお話していました。ちいさな街でも、10年間の流れはやはり大きな変化です。10年間の変化は、サポータの学生さんがプロジェクターを使って説明してくれました。街の開発・農地の減少など北川君はどのように感じたのでしょうか。将来、この講座に参加したことの意義をきっとみつけてくれるでしょう。